

小竹小の教育目標

共に生きる子ども かしこく（知） やさしく（徳） たくましく（体）

- 1 思い描く学校像→活力のある学校（学校は組織体である）
教職員、保護者、地域が熱い情熱をもって、子供たちのために、いかなる困難にも負けず、正面から向き合い全力を尽くす学校を目指す。
(1) 子供たちに「笑顔」と「自己肯定感」をもたせる学校。
・毎日楽しく登校し、自分の力を存分に発揮できる。〈学校が楽しい（90%以上）〉
(2) 教職員が、「やりがい」と「誇り」をもてる学校。
・教師が子供との信頼関係を築き、自分自身の指導力や責任感を高め、子供の成長を喜びとを感じる。
(3) 保護者・地域には「安心」・「安全」と「安定感」を与える学校。
・安心・安全な教育環境を確保し、信頼され、誇りに思える学校経営を進める。

【確かな学力の定着と向上】

- 1 基礎的・基本的な学習内容の定着
(1) 算数の授業改善→1・2年生で教員2名による授業体制の実施。
3年生以上で少人数習熟度別授業の実施。
(2) 自分の考えを豊かに表現できる学習
(3) 家庭学習の定着→全学級
【例】 低学年 音読や計算・漢字練習など（教師側が意図的・計画的に）。
高学年 自主学習も取り入れる（自分で計画を立てて実施）。
2 研究・研修の充実
・国語科の学習において、自分の意見を持ち、伝え合う児童の育成を目指す。
3 特別支援教育の充実
・ひまわり（特別支援教室）との連携。
・ユニバーサルデザイン化（どの子にもわかりやすい教育環境）。
4 オリンピック・パラリンピック教育レガシーの推進
・国際理解教育、日本の文化を知る。・最後まであきらめない気持ちを学ぶ。
5 小中一貫教育・幼保小連携
・中学校区別協議会で小中の教員で公開授業を行う。分科会ごとに研究を深める。
・近隣の幼稚園、保育園の園児を招待した取り組みを行う。
6 外国語教育の充実
・低学年（10時間）・中学年（35時間）〈英語講師・担任による授業〉
・高学年（70時間）〈英語講師・ALTによる授業〉
7 ICT教育の推進
・電子黒板、タブレットPC等のICTを有効活用する。

【豊かな心と健やかな体の育成】

1 心の教育の推進

(1) 基本的な生活習慣の確立

- ・「小竹小ミニマム10のルール」の共通実践。
- ・小竹小「子供の約束」「保護者の約束」の共通理解。
- ・「SNS小竹ルール」の定着。

(2) 道徳教育の充実

- ・全教育活動を通じて道徳的実践力を高めていく。
- ・週1回の「特別の教科 道徳」を大切にす。

(3) 子供の心に寄り添う学校

- ・年間3回のふれ合い月間の充実（子供の実態把握・アンケート調査の実施）。
- ・子供の居場所のある学校（朝、子供を教室で迎える、休み時間等子供と過ごす）。
- ・看護当番の確実な実施（休み時間の子供の状況把握）。

(4) たてわり班活動の充実

- ・異学年の子供たちが豊かにふれあい、人とのコミュニケーション力を育てる。

(5) 教育相談の充実

- ・スクールカウンセラーによる5年生児童全員面接（1学期中）。
- ・心のふれあい相談員による3年生児童全員面接。
- ・スクールカウンセラーと心のふれあい相談員による教育相談（月・火・木）。

(6) 吹奏楽部の活動（本校の特色ある教育活動）

2 体力向上

(1) 体力テストの実施→実態の把握と体力向上への取組

(2) 子供の伸びがわかる体育の授業→指導と評価の一体となった活動

(3) 外遊びの励行→休み時間には、外遊びを奨励し様々な運動遊びをとおして体力の向上並びに友達とのかかわりを高める。

(4) 体育的行事→体育発表会、なわとび月間、マラソン月間等の実施。

3 保健指導・安全教育・給食指導の充実及び校舎内外の環境整備

【保護者・地域との連携】

1 地域と連携した活動

(1) 防災教室の実施 11月11日（土）

(2) 小竹の森音楽祭 10月21日（土）

(3) 学校応援団、葉かげのつどい

2 地域に開いた活動

(1) 学校公開 年間8回実施 体育発表会 道徳授業地区公開講座 展覧会 中学校区別協議会（授業のみ公開）等

(2) 吹奏楽部第44回定期演奏会 令和6年3月2日（土）